

「売り手」就活

2016年春卒業予定の学生の就職活動が本格的に始まった。企業の好業績や人手不足を追い風に今年は「売り手優位」の傾向が際立つ。新人から活躍できるか、残業の少ない職場か。自らの働き方をシビアに選ぶ若者たち。将来の担い手と呼び込もうと企業も職場改革に動き出した。

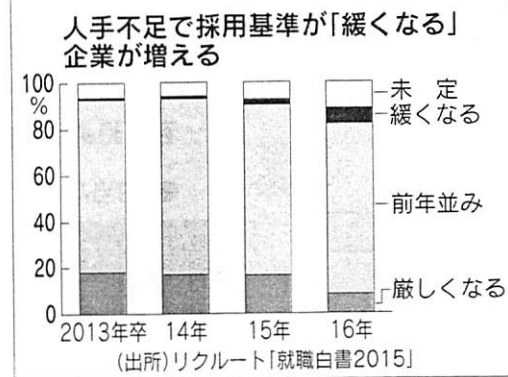
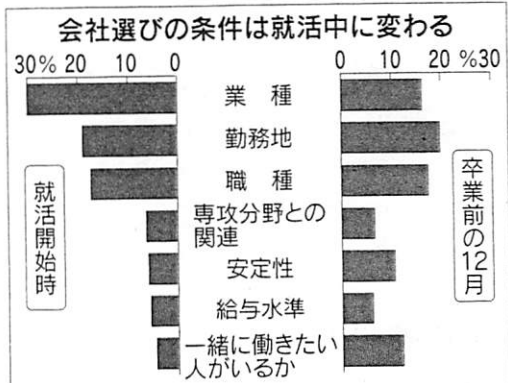


選ぶのは私

学生、成長の場・勤務体系重視

入社倍率1千倍。年20人前後採用する結婚式場・ホテル運営のプラン・ドゥ・シー(東京・千代田)の会社説明会には2万人が訪れる。接客業は楽ではないうえに、年収は入社5年目で約500万円と飛び抜けて高くはない。人気の秘密は若手でも活躍できる社風だ。「引き出物の試食コーナーを作りましょう」。神戸オリエンタルホテルの新人ウエディングプランナー、藤沢茜梨(23)は婚礼フェアの担当に抜

新入社員でブライダルを担当するプラン・ドゥ・シーの藤沢茜梨さん(神戸市中央区)



職場改革 企業動く

働きかた Next 若者の選択

調査では、16年春の大卒採用は15年春に比べて14・2%増える見通し。選別の主導権は今や学生が握る。豊かな生活に慣れた若者は大企業や高収入も国内外の高級ホテルやレストランの利用料の半額は会社が出す。一流のサービスを経験してこそ社員が成長できるとの判断がある。社員1人当たりの研修費も年30万円と、同業平均の10倍だ。売り手市場が続く就職戦線。日本経済新聞社の

「あ、こもブラックだ」。就活中の学生が注目するサイトがある。転職用サイト「キャリアコンネ」だ。会社説明会では実態が分からないため、勤務経験のある社員の書き込

みて残業時間や有休取得日数を調べる。埼玉県の女子大に通う小林香(21、仮名)は「給料に見合わない残業や休日出勤はしたくない」と話す。地域貢献を重視する若者も増える。金融志望の学生ならかつてはメガバンク一辺倒だったが、最近では「メガバンクから内定をもらっても弊社に来る学生が出てきた」と城南信用金庫人事部調査役の桜井努(41)は驚く。大企業の安定志向にとらわれない若者たち。そんな意識の変化に就職人気企業も危機感を抱く。伊藤忠商事は今年の採用セミナーから午後8時以降は原則残業をしない。リクルート就職朝型勤務の説明を始めた。体育会系の印象を払拭するためだ。スイスの大学院生、武田彩花(22、仮名)は「残業が多い商社は対象外だったけど考えが変わった」と話す。外資系コンサルのアクセンチュア。今月2日の会社説明会は東京・六本木の国立新美術館で開き、社長の程近智(54)が自ら出席した。「発想の転換ができるクリエイティブな人材を求めている」。これぞという人材は説明会の会場までハイヤーで送迎する。前例のない取り組み。従来同社を受けなかった層を取り込む。同社は、一度会社を辞めて3度と復職した社員がいるなど、個人の事情に応じた柔軟な働き方を認める。「入社3年で新卒の3人に1人が辞める時代。手先の確保策にとまらず、魅力のある働き方職場に作り替えられか。将来の担い手争奪の行方は、企業自身の長力を占う勝負でもある。」

敬称